

## 京浜急行電鉄 要望項目一覧（17件）

I 輸送力増強.....	2
1 新線・線増計画	
(1) 京急久里浜駅以南の早期完全複線化について（継続）	
(2) 久里浜線の三崎口駅以南への延伸（継続）	
2 輸送計画の改善	
< 運転本数の増発等 >	
(1) 横浜・川崎方面から羽田空港駅直通電車の増強（継続）	
(2) Y R P 野比駅から都心方面への直通運転の増発（継続）	
(3) 上り最終電車の都心方面への延長（継続）	
(4) 逗子線から品川方面への特急増便（継続）	
< 運転区間の延長 >	
(5) 久里浜線下り最終電車等の運転区間の延長（継続）	
< その他 >	
(6) 大晦日の最終電車の繰下げ（継続）	
II 利便性向上.....	4
1 停車要望	
(1) 京急鶴見駅、日ノ出町駅への特急電車の停車（継続）	
(2) 汐入駅への快特電車の停車（継続）	
2 駅施設等の整備	
(1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等（継続）	
(2) 神奈川新町駅の本格的なバリアフリー化（継続）	
(3) 仲木戸駅、日ノ出町駅への可動式ホーム柵の設置（新規）	
III その他.....	6
(1) 自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進（継続）	
(2) 産業道路駅の駅名変更（継続）	
(3) 神武寺駅における英語放送の実施、又は列車発車案内装置の設置（継続）	
(4) 券売機のクレジットカード利用について（継続）	

# I 輸送力増強

## 1 新線・線増計画

### (1) 京急久里浜駅以南の早期完全複線化について（継続）

京急久里浜駅～京急長沢駅間及び三浦海岸駅～三崎口駅間は単線であることから、京急久里浜駅もしくはY R P野比駅において、上下線の通過待ちにより列車が2分間程度停車している状況です。

については、京急久里浜駅以南の円滑輸送、混雑解消と都心方面への速達性向上のため、全線複線化計画を推進されるよう要望いたします。

（横須賀市都市計画マスタープラン）

### (2) 久里浜線の三崎口駅以南への延伸（継続）

本路線の延伸及び三戸・小網代地区の大規模宅地開発の事業が凍結されたことは承知しておりますが、開発手法を再検討するための一時凍結と捉えております。本路線の延伸については、地域経済発展に大きく影響を与えるものであり、長年にわたる市民の要望をご理解いただき、事業実施に向けご検討いただきますよう要望いたします。

（三浦市都市計画マスタープラン）

## 2 輸送計画の改善

### <運転本数の増発等>

#### (1) 横浜・川崎方面から羽田空港駅直通電車の増強（継続）

横浜方面から羽田空港駅直通電車については、平成27年12月のダイヤ改正で23時台の増発がなされるなど、夜間時間帯における増発および延長運転により利便性が確保されたことを深く感謝申し上げます。

一方、羽田空港については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際線増便を検討しており、今後もさらに利用が増える見込みです。そこで、横浜・川崎方面から羽田空港アクセスのさらなる強化に向けて、快特等の運転本数の増加を要望いたします。

（横浜都市交通計画）

#### (2) Y R P野比駅から都心方面への直通運転の増発（継続）

21時台以降のY R P野比駅からの上り電車は、そのほとんどが、京急久里浜駅乗換えとなっており、乗車後すぐの乗換えは、利用者にとって非常に不便な状況にあります。

Y R P（横須賀リサーチパーク）地区には、現在約4千人の就業者がおり、そのうち約6割が公共交通機関を利用している状況です。

今後、Y R P 地区へ新たな産業集積を進めていくためには、公共交通機関の利便性も重要なポイントとなりますので、京急久里浜駅での乗換えを要しない東京直通の電車の増発について、検討をお願いいたします。

また、車両交換のため、どうしても東京直通の電車の増発が困難であるならば、Y R P 野比駅構内に待合室を設置する等、利用者の負担が軽減されるようご配慮をお願いいたします。

#### (3) 上り最終電車の都心方面への延長（継続）

Y R P 野比駅発 23 時台の上り電車は、23 時 19 分発が神奈川新町駅行き、23 時 40 分発が堀ノ内駅止まり最終電車で、都心方面への接続がありません。

については、Y R P（横須賀リサーチパーク）を 22 時台、23 時台に発つバス利用者の利便性から、横浜ないしは品川方面行きの電車の増発及び最終電車の繰下げについてご配慮をお願いいたします。

#### (4) 逗子線から品川方面への特急増便（継続）

これまでのダイヤ改正での「エアポート急行」の新設や増便により、新逗子方面から横浜、羽田空港への利便性が高まりました。

しかしながら、都心方面への利用者が多い朝の通勤時間帯において、品川方面への特急列車の本数は非常に少なく、平日は 6 時 32 分と 8 時 32 分の新逗子駅発のみとなっております。都心方面へ通勤する利用者は乗換えを余儀なくされております。

については、沿線人口および利用状況を勘案された上でダイヤを編成されていることと存じますが、朝の通勤時間帯において、逗子線から品川方面への特急を増発、または、羽田空港行特急のうち数本を品川方面行特急へ変更することについて、引き続きご検討くださるようお願いいたします。

#### <運転区間の延長>

#### (5) 久里浜線下り最終電車等の運転区間の延長（継続）

現在、平日の久里浜線の最終電車及び最終一本前の電車は、いずれも京急久里浜駅止まりとなっております。

については、京急久里浜駅以南の利用者の利便性向上のため、最終電車及び最終一本前の電車の運転区間を延長していただきますよう要望いたします。

なお、延長する運転区間については、京急久里浜駅発 0 時 31 分の三浦海岸駅行きも含めて、三崎口駅までとすることについて、ご検討くださるようお願いいたします。

#### <その他>

#### (6) 大晦日の最終電車の繰下げ（継続）

12 月 31 日開催の「よこすかカウントダウン」は、三浦半島最大の年越しイベントとして定着しております。第 2 回実施時に、国道 16 号線、本町山中線の大渋滞を

引き起こし、J R 横須賀駅発のバスの運転に支障をきたしました。

今年度も相当数の入込み客が見込まれていることから、混乱回避のため、参加者にはできるだけ公共交通機関をご利用いただきたいと考えております。

ついては、バス事業者とも連携しながら、引き続き大晦日の最終電車の繰下げを実施いただくようお願いいたします。

## II 利便性向上

### 1 停車要望

#### (1) 京急鶴見駅、日ノ出町駅への特急電車の停車（継続）

京急鶴見駅、日ノ出町駅は普通電車及びエアポート急行の停車駅となっておりますが、事業所や店舗が集中する地域にあり、周辺においては市街地再開発事業も進んでいることから、特急電車の停車を要望いたします。

#### (2) 汐入駅への快特電車の停車（継続）

汐入駅は、市街地再開発事業など重点的な施策を展開している地区にあり、都心方面から横須賀芸術劇場（年間利用者約 24 万人）の利用者や、軍港めぐり、ヴェルニー公園、湘南国際村を訪れる人々が利用する駅として、横須賀市の中心市街地の、北の玄関口となっております。一部ダイヤの改正により、乗継ぎ利便性にご配慮いただきましたが、依然として日中の特急電車の本数は少なく、市内外から多くの来場者がある芸術劇場のお客様からも、快特電車の停車要望を多数いただいております。また、軍港めぐりやヴェルニー公園を訪れる市内外からの多くの観光客の利便性も考慮されるところです。

ついては、通勤・通学客の利便性向上及び劇場等利用者や観光客の公共交通機関利用促進のため、恒常的に快特電車を停車されるよう要望いたします。

### 2 駅施設等の整備

#### (1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等（継続）

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。

また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。

#### ①転落防止

ホームドア、可動式ホームの柵等の設置による高齢者、視覚障害者等の旅客の転落を防止するための設備の整備について、支援制度も創設された一部自治体はもとより、その他の県内駅にも早期設置を要望いたします。転落防止施設の整備が困難な場合は、当面の策として内方線付きJIS規格化点状ブロックの整備し、線路への転落時の対応として、転落検知マットの設置等安全対策をされるよう要望いたします。

#### ②多機能トイレ等

多機能トイレの改良について要望いたします。

#### ③移動経路等

誘導路設置、段差解消について要望いたします。

#### ④エレベーター、エスカレーター、AED等

車いす対応のエレベーター、エスカレーターの設置を要望いたします。

また、救急出場件数が年々増加傾向にある現在、駅構内における救急事案も増加の傾向にあり、それに対応する救急隊も傷病者の収容には苦慮しているところです。傷病者の収容に際しては、救急担架を水平にして搬送することが望ましい傷病者も多いことから、救急担架が容易に収容できるエレベーター（奥行き2.0m以上、幅0.6m以上）の設置を要望いたします。

なお、設置が困難な場合には、代替案として、足部等が折りたためる等のコンパクトにエレベーターに収納することが可能なサブストレッチャー（搬送補助器具）を装備していただきたく要望いたします。

#### ⑤車両等

高齢者や障害者等がさらに利用しやすいよう、移動等の円滑化された車両の整備、新車両の開発・導入を検討されるよう要望いたします。

全車両内において、車いすやベビーカーなどの利用者が利用できるスペースを配置するとともに、周囲からも容易に認識できるように、マークの掲出や床面等の着色を行うよう要望いたします。また、駅構内において、車いすやベビーカーなどの利用者に対する相互理解を深めるためのポスター等の掲出についても併せて要望いたします。

#### ⑥案内表示

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、訪日外国人の増加が見込まれることから、多言語及びふりがなの表示された案内板・券売機の設置を要望いたします。

視覚障害者用誘導ブロックや音響音声案内装置は全駅に整備いただいているところですが、触知案内図についても設置を要望いたします。

#### ⑦人員対応

ラッシュ時における改札、精算窓口、エレベーター等を利用する際駅職員によ

る配慮のほか、利用者への心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実に取り組まれるよう要望いたします。

〔横浜市基本構想、横浜市都市計画マスタープラン、横浜都市交通計画、川崎市総合都市交通計画、三浦市都市計画マスタープラン〕

(2) 神奈川新町駅の本格的なバリアフリー化（継続）

神奈川新町駅の1日の乗降客数は19,000人/日（平成28年度）と、3,000人/日を大きく超えている状況ですので、現況のエスカルによる対応ではなく、エレベーター設置などの本格的なバリアフリー化について、早急に検討、調整を実施し、早期の実現を要望いたします。

(3) 仲木戸駅、日ノ出町駅への可動式ホーム柵の設置（新規）

横浜市では利用者数が1日10万人以上の駅及び視覚障害者利用施設最寄駅を対象に可動式ホーム柵の整備を促進することとし、整備費用の一部を鉄道事業者に補助しています。横浜駅、上大岡駅については、貴社が可動式ホーム柵の設置を計画していることに感謝します。その他の駅についても、旅客の安全確保を図る観点から、早期に導入されるよう要望いたします。

### III その他

(1) 自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進（継続）

駅までの交通手段として利用される自転車や原動機付自転車が、駅前の歩道、車道、さらに周辺の道路、空地に放置され、歩行者の安全対策、車両交通対策、また景観上から支障が大きくなっています。

このような問題の解決及び利用者の利便性向上のため、放置自転車等を収容する自転車等駐車場の確保及び整備に努力しているところですが、駅周辺において新たな用地を確保することは困難な状況にあります。

については、自転車等の利用者の大部分が京急線を利用する通勤・通学者であること、また、自転車等駐車場の設置に対する鉄道事業者の協力義務を規定した「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律（自転車法）」の趣旨にのっとり、自転車等駐車場用地の提供及び自転車駐車施設の設置・運営等、放置自転車対策の推進について積極的に取り組まれるとともに、現在、自治体あてに有償で貸し付けている用地の借地料軽減について、ご検討いただきますよう要望いたします。

なお、平成18年6月から改正道路交通法が施行され、自治体としても、自動二輪車（排気量50ccを超えるもの。ただし、側車付きは除く。）の駐車対策を早急に進める必要があるため、自転車、原動機付自転車と同様に、自動二輪車の駐車場の設置についても、特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。

(横浜都市交通計画、横須賀市都市計画マスタープラン)

(2) 産業道路駅の駅名変更 (継続)

産業道路駅周辺では、地下化工事を推進している京浜急行大師線の立体交差化をはじめとして、首都高速横羽線と高速川崎縦貫線の結節点となる大師ジャンクションが平成 22 年 10 月に供用されるなど、地域を取り巻く環境がこれから大きく変化してまいります。

また、国際戦略拠点の形成を推進している殿町地区へのアクセス駅として、平成 23 年 10 月には、京浜急行電鉄により産業道路駅前にバスバースが供用開始され、引き続き、バスターミナル新設に向けての取組みが貴社との連携により進められています。

このように、産業道路駅周辺を中心として、まちづくりが急速に進展しており、これからの産業道路駅が果たす役割も、川崎臨海部における交通結節点の一つとして、従来とは比較にならないほど、地域の重要な拠点となってまいります。

については、産業道路駅立体交差化完成の際には、この駅が、今後果たすべき役割にふさわしく、かつ、さらなる産業道路駅周辺地区を中心とした、川崎市の飛躍につながるような、象徴的で新しい駅名への変更を要望いたします。

(3) 神武寺駅における英語放送の実施、又は列車発車案内装置の設置 (継続)

駅名・案内サインの多言語化については、順次進めていただいているところですが、神武寺駅には隣接する池子米軍家族住宅専用の改札口が設置されており、米軍関係者の利用の促進と利便性向上のため、神武寺駅における、英語による案内放送の実施、または、二ヶ国語による列車発車案内装置の設置を要望いたします。

(4) 券売機のクレジットカード利用について (継続)

インバウンド対応として、券売機において、定期券以外の乗車券等を購入する場合にも、主要なクレジットカード(海外発行分含む)が使えるよう、設置をお願いいたします。